

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科 京都大学大学院薬学研究科						
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じた高度ながん薬物療法および支持療法を推進するがん専門薬剤師養成コース						
対象者	医学専攻博士課程 薬学専攻博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	多様化するがん薬物療法および支持療法についての高度な知識を有し、グローバルな視点で各世代ごとのライフステージに応じた医療を実践できるがん専門薬剤師						
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	近年のがん薬物治療は日進月歩である。これからのがん専門薬剤師には、国内外の最先端治療法についての最新の知識に基づき、多様化するがん薬物療法および支持療法の中から各世代の患者ごとに最適化された方法を選択・提案する能力が要求される。本プログラムは、国内および海外（MDアンダーソンがんセンターなど）での医療施設における短期研修を通して、複雑化するがん薬物療法および支持療法の薬剤選択アルゴリズムについて学ぶだけでなく、臨床における clinical question について積極的に調査・研究して答えを見出し、臨床現場に還元することができる薬剤師養成の取り組みである。また、副作用や効果の予測による個別化化学療法の研究者であり、かつ薬物チーム医療の先導者というバイリンガル医療人の養成という点も大きな特色である。						
指導体制	上述の通り、国内および海外（MDアンダーソンがんセンターなど）での医療施設における短期研修においては、臨床現場の最前線で活躍するがん専門薬剤師による指導体制を構築する。さらに、コース在籍中には、がんプロ大学院生に指導教員をマンツーマンでつけ、がん専門薬剤師資格の取得に必要な専門知識の習得を目指す。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、日本医療薬学会認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師あるいは日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師のいずれかの資格取得を目指す。また、卒後はチーム医療の中で他職種と連携しながらがん薬物療法・支持療法を実践し、教育する医療者（大学、がん診療連携拠点病院、病棟など）、がん薬物療法・支持療法を研究する医療者（大学、研究所、がん診療連携拠点病院など）となることを目指す。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学研究科 博士課程	0	0	1	0	1	2
	薬学研究科 博士課程	1	1	1	1	1	5
	計	1	1	2	1	2	7